

2日間

最新の制度改正を反映 海外の特許制度と実務上の留意点

難易度
中級

(米国・欧州(EPC)・中国)
～米国ならびにEPC(欧州特許条約)・中国の各制度の下での
グローバル特許取得の基本的な知識と留意点を解説します～

講師	小西 恵 氏	小西永岡特許事務所 所長・弁理士	
日時	2025年9月25日(木)、26日(金) 13:30～16:30		

◆近年増加の一途を辿る海外での特許取得にあたって学んでおきたい基本的な知識を理解しましょう。

◆本講座では、パリ条約・PCT(特許協力条約)等の国際条約の特徴やメリットについて説明を行った上で、米国ならびにEPC、中国の各特許制度やその特許取得手続について、日本の特許制度との対比を示しつつ、日本の出願をベースに海外で効率的に権利化できるよう、分かりやすく解説します。

◆最新の制度改正を反映した解説を米国、欧州(EPC)、中国の順に行い、やや米国、欧州に重きを置いて解説していきます。

<講義内容(予定)>

1. 序論:なぜ外国での特許取得が必要か
2. 日本の特許制度概観
3. 特許関係国際条約
 - 3.1. 工業所有権の保護に関するパリ条約
 - 3.2. 特許協力条約(PCT)
 - 3.3. TRIPS協定
4. 2つの外国出願ルート
(PCTルート、パリルート)
5. 米国特許制度
6. 欧州特許制度(ヨーロッパ特許条約)
7. 中国特許制度

テキストはPDFで共有させていただきます

◇企業や特許事務所の知財担当者はもとより、研究開発部門や生産部門の技術者、研究者の方で知財経験が1年～3年の方に最適な講座です。



ライブ配信だからその場で講師に質問可能 & アーカイブ配信も実施(各講義翌日から2週間)

・聞き逃しても安心!期間内はなんどでも。
・再生速度を変更可能!